

都道府県名	佐賀県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	三田川町立三田川中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	0	10	19
生徒数	93	100	117	0	310	

研究の概要

1. 研究主題

<p>確かな学力を身に付けた生徒の育成 - 基礎・基本を中核として -</p>
---

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>全学年・全教科 本校では、加配のあるなしに関わらず、中学校の全教科において、確かな学力を身に付けさせるべきであると考えているからである。</p>
---

(2) 年次ごとの計画

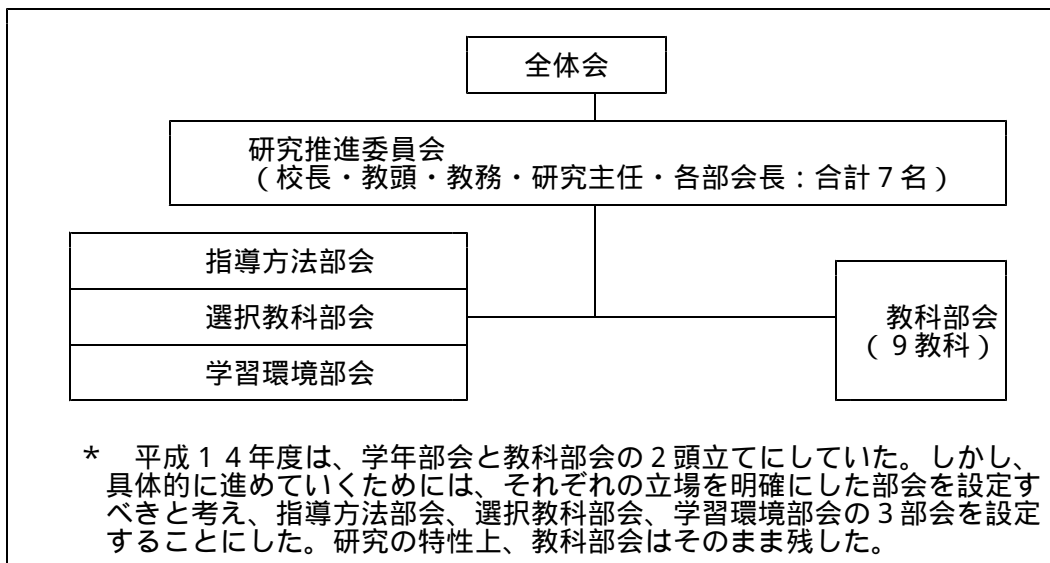
平成14年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付けた生徒の育成（1年次）</p> <p>仮説 各教科で、何が基礎・基本か、指導法の工夫、その評価の在り方などを考えていけば、力を身に付けた生徒が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 ・年3回程度の研究授業の実施 ・評価規準・基準表の作成 ・基礎・基本を身に付けるための手だての検討</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付けた生徒の育成（2年次）</p> <p>仮説 基礎・基本を徹底させ、それぞれの学習に幅をもたせれば、確かな学力を身に付けた生徒が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 ・年4回程度の研究授業の実施 ・金6タイムを含む学習環境の検討、整備 ・多様な選択教科の検討、実施</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 確かな学力を身に付けた生徒の育成（3年次）</p> <p>仮説 基礎・基本を徹底させ、それぞれの学習に幅をもたせれば、確かな学力を身に付けた生徒が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法 ・全教科による公開授業研究会の実施</p>
--------	--

- ・金6タイムを含む学習環境の検討、整備
- ・選択教科及び基礎・基本を確実にする手だての検討

### (3) 研究推進体制

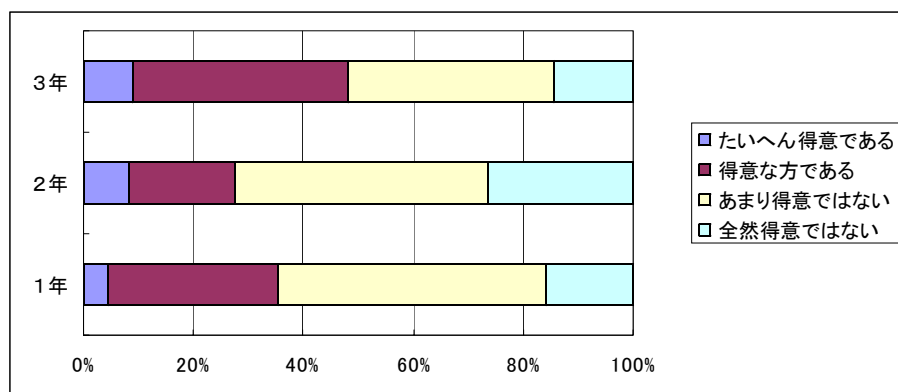
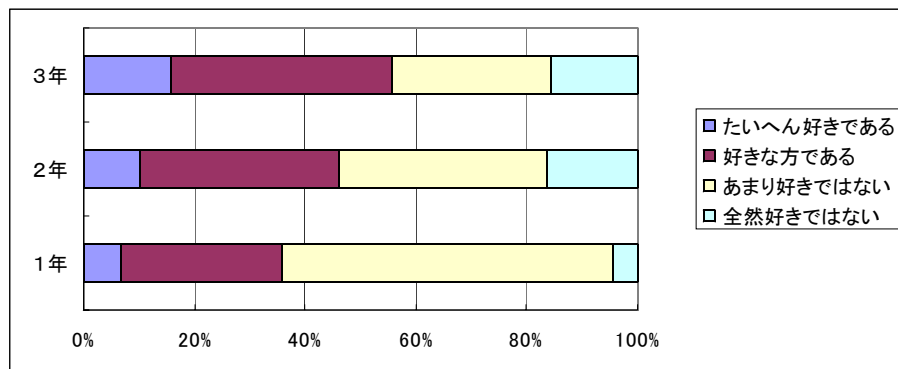


### 平成15年度の研究の成果及び今後の課題

#### 1. 研究の成果

##### (1) 習熟度別少人数指導の成果

一つのコースは章末問題を自力で解ける学習を、もう一方のコースは基礎的な問題を解ける学習をする。本校では、希望を取り入れた習熟度別コース分けを実施している。



上の図表のように、数学が「たいへん好きである」「好きな方である」、また、「たいへん得意である」「得意な方である」と答えた生徒は、学年が上がるほど多く、論理的に説明する力をつけたいと考えている生徒が多い。少人数授業を受けて、「少人数の方が良かった」と答えた生徒の割合は74%、「一斉の方が良かった」が2%、「どちらとも言えない」が24%であった。少人数による「分かる授業」や「楽しい授業」で、基礎・基本の定着ができ、積極的に学習していることが分かった。

(2) 生徒指導との関わり

当然の姿であるとも言えるが、どの教科においても、ここ数年では最も落ち着いた授業が展開している。学力向上と生徒の姿に、相関関係が成立していることが分かる。

(3) 「金6タイム」の実施

「金6タイム」とは、金曜の6時間目の教育課程外の特別な時間、という意味である。1学期は、佐賀新聞のコラムである「有明抄」の視写から行った。与えられた文章を心静かに、一定の時間書き写す。途中2度ほど改良を加え、現在は、放送原稿（生徒に録音を依頼）による聴取の後、視写を行っている。この実践を続けていけば、集中力、読む力、書く力、考える力、聞く力などが備わっていくであろうと考えている。

(4) 全教科による公開授業の実施

本校では、すべての学校教育活動において学力を身に付けさせるという観点に立って、平成14年度・15年度の2年間で、全教科において研究授業を実施した。そうすることによって、教師自身が授業を見つめ、真摯に振り返る機会を得たのではないかと考えている。教師の授業力の向上が、生徒の学力の伸張に繋がるのだと信じている。

## 2. 今後の課題

(1) 手だての実践

平成14年度末、それぞれの教科で、基礎・基本を確実に身に付けるための手だてを提示した。平成15年度以降は、その実践を行ってきた。それらについて、その手だてのままで良いか、もっと確実な方法はないかなどを検討し、実践していくことをこれからの課題と考えている。

(2) 公開授業後の研究会の実施

公開授業はしたものの、授業研究会についてはその教科の者だけの参加に留まった。教科の壁を取り払うような研究会の実施、及び教師の意識改革が、今後の課題である。

### 学力把握のための学校としての取組

より客観的な資料の収集のために、本校では以下の検査を実施している。

- ・ 4月：全学年において標準学力検査（NRT）の実施
- ・ 10月：全学年において佐賀県中学校英語学力調査の実施
- ・ 1月：全学年において佐賀県中学校学力テスト数学の実施
- ・ 3月：2年生において目標基準準拠検査（CRT）の実施

